

事業概要：浪江町エネルギーセンター整備交付金事業

申請者	福島県浪江町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (118,210千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	<p>・本事業で整備するエネルギーセンターから、グリーン水素等を用いて発電した再生可能エネルギー100%の電気を駅前再開発エリアへ供給し、CEMSと連動した効率的なエネルギー利用モデルを実装することで、脱炭素のまちづくりを推進し、「住んでみたいまち」としてのブランド力を高める。</p> <p>・また、国家戦略特区を活用した全国に先駆ける街中での水素実証フィールドとして位置付け、企業や研究機関の活動を誘致し、連携を促進することで、イノベーション創出の基盤を構築する。これにより、スタートアップの育成や企業誘致を通じた地元雇用の拡大を図る。</p> <p>・これらの取組を通じて、浪江町の強みであるエネルギー・水素分野の産業基盤を強化し、地場産業の成長と持続的な地域経済の形成を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>浪江町エネルギーセンターを整備し、グリーン水素や再生可能エネルギーとCEMSを連携させた先進的な脱炭素まちづくりを駅前再開発エリアで推進し、「住んでみたい町」としてのブランドイメージの確立を図る。地域の強みであるエネルギー分野を核に、研究・実証から事業化までを一体的に支援する産業クラスターの形成を目指す。</p> <p>また、国家戦略特区制度を活用して住居地域内の水素貯蔵上限を緩和し、本施設を全国に先駆けて住居地域でグリーン水素を安定的に供給できる実証フィールドとして活用する。その強みを生かし、企業の実証事業を誘致するとともに、福島国際研究教育機構や東北大学福島浜通り拠点等の研究機関との連携を促進し、イノベーション創出の基盤を構築する。</p> <p>さらに、水素・再生可能エネルギー利活用のショールームとして町の先進性を広く発信する情報発信拠点として活用し、魅力ある企業進出環境を示すことで、新たな企業誘致と雇用創出につなげる。</p>					 <p>浪江駅周辺整備エリアにおける取組イメージ</p>	
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>浪江町エネルギーセンター整備工事（新築）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託費 90,000千円 ・CM業務委託費 28,210千円 						
主なKPI	<ul style="list-style-type: none"> ①エネルギー関連企業雇用者数（+50人） ②町内の新エネルギーに関する実証件数（+5件） ③純水素燃料電池によるCO2削減量（▲1,000 t） ④エネルギーセンター来訪者数（+9,000人） <p>※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</p>					URL	< 交付金の具体的用途・実施体制 > 令和8年6月公表予定 < 効果検証 > 令和9年9月公表予定
						<p>※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</p>	